

平成28年度第1回子どもの遊び場推進会議 会議録

日 時 平成28年9月5日（月） 午後6時30分～午後8時30分
場 所 教育委員会室

議事日程

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 委員及び事務局自己紹介
- 4 報告・検討事項
 - (1) 子どもの遊び場確保の取組実績（平成28年9月5日現在）について
 - (2) 旧永田町小学校を暫定活用した子どもの遊び場の実施について
 - (3) 衆議院九段議員宿舎跡地を活用した子どもの遊び場について（報告）
 - (4) 今後の子どもの遊び場事業の展開について
- 5 その他
- 6 閉会

出席委員（8名）

上智大学文学部保健体育研究室教授ほか	師岡 文男
外神田五丁目栄町会	作道 泰明
千代田区青少年委員会	谷 真理子
千代田区青少年委員会	瀬谷 達郎
スポーツ推進委員	岡村 五十鈴
麴町小学校副校長	齊藤 孝之
神田地区の町会関係者	飯田 加世子
神田地区の町会関係者	大野 智洋

出席区理事者（3名）

子ども総務課長事務取扱 子ども部参事	村木 久人
生涯学習・スポーツ課長	大塚 立志
道路公園課長	千賀 行

出席事務局（2名）

子ども総務課事業係長	秋山 和美
子ども総務課主事	白石 昂大

事業者（4名）

D&A Networks 代表	中田 弾
-----------------	------

D&A Networks	野中 美貴子
D&A Networks	古川 真子
D&A Networks	塚本 留加

欠席委員（2名）

九段小学校PTA会長	久保寺 健郎
千代田小学校PTA	足立 陽子

欠席区理事者（0名）

欠席事務局（0名）

議事日程

1 開会

⇒子ども総務課長より開会の挨拶があった。

2 委嘱状交付

⇒新規委員に委嘱状を交付した。

3 委員及び事務局自己紹介

⇒各出席委員及び事務局より自己紹介があった。

4 座長・副座長互選

⇒委員の互選により、師岡委員が座長に、作道委員が副座長に選任され、就任の挨拶を行った。

5 報告・検討事項

⇒事務局及び事業者から以下の事項について資料に基づき説明があった。

- ・平成28年度子どもの遊び場確保の取組実績報告

⇒事務局から以下の事項について資料に基づき説明があった。

- ・旧永田町小学校を暫定活用した子どもの遊び場の実施について
- ・衆議院九段議員宿舎跡地を活用した子どもの遊び場について（報告）
- ・今後の子どもの遊び場事業の展開について

⇒事務局及び事業者からの説明後、各委員からの意見表明、質疑応答等があった。

※各委員からの意見表明、質疑応答等

●平成28年度子どもの遊び場確保の取組実績報告

(委員) 初めてくる人とリピーターの割合はどの程度か。

(D&A Networks) 今年度は新規の利用者も多く見受けられる。小学校に隣接している和泉公園、東郷公園、芳林公園は、リピーターが多い傾向にある。

(委員) どの年齢層の利用者が多いか。

(D&A Networks) 全体としては小学校低学年から中学年が多いが、外濠公園、芳林公園では幼児、低学年の利用者が多い。高学年は友達同士複数人で来る傾向にある。

(委員) トラブルや事故、怪我などの問題は起きているか。

(D&A Networks) 大きな怪我や事故は起きていない。トラブルは1件報告を受けている。プレーリーダーが理由を説明し、大きな問題にはなっていない。

(委員) 子どもたちは、遊び場に徒歩で来るのか、自転車で来るのか。

(D&A Networks) 徒歩圏内から来る子どももいるが、友達と自転車で来る子どももいる。

(委員) 各実施場所で、何人プレーリーダーを配置しているか。人数の過不足はあるか。

(D&A Networks) 現在4人ずつ配置しており、内1名がリーダーとして取りまとめている。各実施場所の環境や当日の利用者数に合わせた対応が必要になるため、4人が適正人数だと考えている。

(委員) 利用している子どもはどのような遊びをすることが多いか。

(D&A Networks) 場所にもよるが、小川広場ではサッカーが多い。芳林公園は、幼児が多いので、簡単なボール遊びが多い。東郷公園はサッカーや大縄、フリスビーが多い。和泉公園ではキャッチボールやドッジボール、氷鬼やケイドロ等も多い。

(委員) プレーリーダーの存在は子どもたちにどのような影響を与えていると感じるか。

(D&A Networks) プレーリーダーが間に入ることによって、学校や年齢の垣根を越えて一緒に遊んだり、友達ができること。遊びを広く教えながら、いろいろな遊びができることの2点。

●旧永田町小学校を暫定活用した子どもの遊び場の実施について

(委員) 周知の際に、行き帰りの安全確保の注意喚起が必要ではないか。

(区) 交通量の多いところを通る必要があるため、十分な注意喚起を行いたい。

(委員) 古い施設だが、安全面で問題はないのか。

(区) 出入り口の階段や防球フェンス、プールの跡地等を整備し、安全に遊べるようにする。

(委員) 子どもが旧校舎に入る危険性はないのか。

(区) 防球フェンスで区切ること、遊んでいるときに校庭側から旧校舎の中に入らないようにする。

(委員) 世代間交流の良い機会でもあるし、広い場所なので小学生だけを対象とせず、様々な年代の子どもが交流できると良い。

- (区) 小学生以下をメインの対象としているが、それ以外の子どもが来た場合、互いに共存できるようプレーリーダーで誘導は行うが、追い出すようなことはしない。
- (委員) 校舎の正面から入口への案内図等を設置したほうが良い。
- (区) 子どもたちにわかりやすいように工夫したものを掲示する。
- (委員) 熱中症対策として緊急時の避難所等はあるのか。
- (区) 藤棚を整備し日陰にする。運用状況によって柔軟な対応をしたいと考えている。

●衆議院九段議員宿舎跡地を活用した子どもの遊び場について（報告）

- (委員) 仮設トイレの清掃頻度はどの程度か。水道はついているのか。
- (区) 1週間に1度、清掃業者が手入れをしている。水道は通っていないので、仮設トイレは汲み取り式、手洗い器はタンク式である。
- (委員) 実施にあたり、近隣に説明は行ったのか。苦情は来ていないか。
- (区) 開設前に説明会を行った。今のところ苦情は来ていない。
- (委員) 利用者はどういった人が多いか。
- (区) 年齢層は幼児くらいが多い。近くの大型マンション等から来ている利用者が多く見受けられる。

●今後の子どもの遊び場事業の展開について

- (委員) そもそもこの会議は、子どもをたくさん外遊びさせることが目的ではない。遊び場というなれば試行である。様々な制限があり、公園等で子どもたちが自由に遊べない中、今後、行政はどういったプロセスで、どの時点で自由に遊んでいいと判断するのか。そのためには、ボール遊びをすることに対してどのような反応があるのかをもっと検証していかないと意味がないのではないか。クレームもなく反対意見もないとしたら、公園等で子どもたちが自由に遊べるよう行政が決断できず足踏みをしていることが問題である。
- (D&A Networks) クレームの報告は受けていないが、安全管理の面で、見守りをする大人を配置する必要性は感じている。
- (区) 教育所管としては、可能であればプレーリーダーを置かない遊び場も検討していきたい。公園管理所管としては、どうしても歯止めのようなものが必要になるため、全て自由にとというのは、現状難しい。
- (委員) 行政だけではなく、地域住民が地域の公園の管理を行えると良い。
- (委員) 各遊び場や地域に合わせて運営方法を変えて特色を出してはどうか。
- (委員) 遊び場を利用していた子どもが中学生や高校生になったとき、遊び場事業に力を貸すような役割をしてもらい、地域の意識を変えていけたら良い。
- (委員) 子どもたちに外遊びの意識は根付いてきているので、もう一工夫設備を整えてもらいたい。スペースの検討は引き続き必要。
- (委員) もっと事業を積極的にアピールしてもいいかもしれない。
- (委員) 施設の整備だけではなく、地域の方々も運営にかかわっていく必要がある。

6 その他

7 閉会